

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 6月 30日

事業所名 はろー!わーど

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	90.0%	10.0%	0.0%	指導訓練室を広く取り室内でも活動ができるようにしている。また新しく部屋を作り制作や学習等の活動ができるスペースを設けている。	
	2	職員の配置数は適切である	80.0%	0.0%	20.0%	配置基準以上の人員数は満たしている。子供の様子や活動内容によって人手が必要な時は、柔軟な応援体制を組んでいる。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	80.0%	20.0%	0.0%	対応可能な限りのバリアフリーは行っている。建物の構造上対応できない部分がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	90.0%	0.0%	10.0%		課題に対しミーティングを行い必要なハード面から整えている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	70.0%	0.0%	30.0%		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	80.0%	0.0%	20.0%	評価表を保護者様に配布し、調査を依頼・実施している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	80.0%	0.0%	20.0%	自己評価表をホームページにて公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0.0%	40.0%	60.0%		現在行っていない。 今後検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	70.0%	0.0%	30.0%		社内研修以外にも今後は参加していく予定。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	保護者との連絡をこまめに取りながらアセスメントを行い計画に反映させている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0.0%	60.0%	40.0%		アセスメントツールを目安としてアセスメントを実施しているが書類として落とし込めておらず今後の課題である。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	70.0%	0.0%	30.0%	個々の児童の特性を理解し個別と集団の必要性を理解した上で作成している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	90.0%	0.0%	10.0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	70.0%	0.0%	30.0%	意見交換しながら立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	90.0%	0.0%	10.0%	季節に合った活動や行事、子供達の希望を取り入れながら計画している。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	子供の特性に応じた内容で作成している。		

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80.0%	0.0%	20.0%	支援開始前は、時間を取り支援内容や役割分担の打ち合わせをしている。また送迎表などを活用し職員の動きを明確にしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100.0%	0.0%	0.0%	グループLINEを活用し共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	90.0%	0.0%	10.0%	日々の記録を作成し、管理者・児発管がチェックしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%	0.0%	定期的実施し計画の見直しも都度行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	70.0%	0.0%	30.0%	管理者を中心として会議前に職員とミーティングを行い、利用者様の日々の状況を丁寧に説明できるようにしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	30.0%	0.0%	70.0%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0.0%	30.0%	70.0%		該当児童がいない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0.0%	20.0%	80.0%		該当児童がいない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	40.0%	0.0%	60.0%		必要に応じて実施予定。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	40.0%	0.0%	60.0%		必要に応じて実施予定。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	20.0%	0.0%	80.0%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	60.0%	0.0%	40.0%	地域の催しやイベントの参加を通じて交流の機会を作っている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0.0%	20.0%	80.0%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	90.0%	0.0%	10.0%	送迎時や電話連絡等で情報共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10.0%	50.0%	40.0%	ペアレントトレーニングは行っていないが、その都度相談や助言は行っている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	書類に沿って説明しご納得戴いた上で署名・捺印を載している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	80.0%	0.0%	20.0%		

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80.0%	0.0%	20.0%	保護者様の抱えている悩みや相談については、相談毎に支援を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0.0%	50.0%	50.0%	コロナの為、未実施	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%	0.0%	寄り添いながら傾聴や助言を行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	70.0%	0.0%	30.0%	活動内容やお出掛けの様子は個々にSNS等で発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100.0%	0.0%	0.0%	個人情報、鍵付きロッカーに収納し、日頃から個人情報の取扱いに配慮している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	80.0%	0.0%	20.0%	絵・写真・実物等の視覚的手掛かりを用いる等して子供の特性に合わせて伝わりやすいように工夫している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0.0%	70.0%	30.0%	コロナの為、未実施	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	80.0%	0.0%	20.0%	策定したマニュアルは玄関に吊り下げており、誰でも手に取って確認できるようにしている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80.0%	0.0%	20.0%	年2回実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100.0%	0.0%	0.0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100.0%	0.0%	0.0%	アセスメント時に必ず確認している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	0.0%	ヒヤリハット活動を虐待防止委員会でやっている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	0.0%	虐待防止委員会を設置しOJTを行うなど、虐待防止に取り組んでいる。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100.0%	0.0%	0.0%	身体拘束が必要な場合は、職員間で会議を行い、三原則を確認し書類を作成後、保護者様の同意説明を得て行っている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。